

第59回明大昆虫セミナー

なぜ虫は死んだふりをするのか？

宮竹 貴久 氏
(岡山大学)

日時：2019年10月4日（金）17:10～19:00頃

会場：明治大学 生田キャンパス 農学部6-204教室

昆虫はなぜ死んだふりをするのでしょうか？ファールはこれを「神経的に陥る仮死状態」だとしましたが、その後、死んだふりの適応的な意味については誰も注目しない時代が続きました。宮竹氏は、昆虫がどんなときに、なぜ死んだふりをするのか調べました。そしてコクヌストモドキという甲虫を使って死にまね時間の長短を選抜し、「どんなに刺激しても死にまねしない集団」と「少しの刺激で瞬時に死にまねする集団」を確立しました。この両集団を使って、死にまねが生存上有利なことを世界に先駆けて示し、死にまねとリンクする形質を探索し、さらにその分子レベルの研究も行っておられます。今回のセミナーでは一連の研究を紹介して頂くとともに、時間が許せば昆虫行動の知識が害虫防除にどう繋がるかについても紹介して頂きます。皆さま奮ってご参集下さい。

問い合わせ：農学部 応用昆虫学研究室 糸山 享